

令和5年度 沖縄県功労者表彰式



県は、11月3日、令和5年度沖縄県功労者表彰式を那覇市内のホテルで開催しました。式典には、受賞者のご親族や関係者の皆さまのご出席のもと、各部門で功績のあった12名の方々に玉城デニー知事から表彰状と功労章を贈呈しました。



【地方自治部門】 山内 徳信 88歳

読谷村長、沖縄県出納長、参議院議員を歴任し、読谷飛行場の返還、伝統工芸の拠点整備、農畜産業や自然観光を活用した地場産業の発展、基地から派生する諸問題の解決に尽力するなど、地方自治の進展と本県振興に貢献した。



【社会福祉部門】 玉城 文子 88歳

ゆたか福祉会理事長、津嘉山保育園理事を務め、こども園や放課後児童クラブの設立・運営を通じて共働き世帯を支援するとともに、保育人材の育成、保育現場の環境改善、「沖縄保育のあゆみ」の発行に尽力するなど、本県の社会福祉の向上に貢献した。



【地方自治部門】 仲里 全輝 87歳

沖縄県副知事、沖縄県信用保証協会会長などを歴任し、沖縄21世紀ビジョンの策定、那覇空港の拡張整備、沖縄科学技術大学院大学の設置促進など本県の持続的発展を支える基盤整備に尽力するなど、地方自治の進展と本県振興に貢献した。



【社会福祉部門】 大嶺 千枝子 84歳

沖縄看護学校長、沖縄県看護協会会長、沖縄県立看護大学教授を歴任し、保健医療行政の推進、看護教育活動および沖縄特有の公衆衛生の学術研究を通して、看護の質の向上と人材育成に尽力するなど、社会福祉の向上に貢献した。



【教育部門】 玉城 昭子 85歳

琉球大学教育学部教授、沖縄県教育委員会委員長、沖縄県体育協会理事を歴任し、伝統芸能や体育教育の実践的研究の実績をいかし、学力の向上や教育環境の改善など課題解決に尽力し、本県の教育振興に貢献した。



【産業振興部門】 屋良 秀夫 83歳

日本防錆技術協会会長、沖縄県溶接協会会長を務め、鉄鋼構造物の腐食環境が厳しい沖縄において、金属の防錆技術および溶接技術の向上、後進の指導育成に尽力するなど、本県の産業技術の向上と産業振興に貢献した。



【文化・学術部門】 島袋 善保 80歳

沖縄県空手道連合会会長、沖縄伝統空手道振興会副会長を務め、沖縄伝統空手の教えや型の継承、後進の育成、県外・海外における普及・指導活動、文化的価値の向上に尽力するなど、本県の文化振興に貢献した。



【観光振興部門】 大城 孝心 91歳

沖縄バス株式会社代表取締役、沖縄県バス協会副会長を務め、県内初となる観光バス部門の開設、観光ガイドの養成やシナリオ作成に尽力し、本県の観光振興の礎を築いたほか、慰問や募金などの社会貢献活動を実施した。



【伝統芸能・工芸部門】 眞境名 正憲 85歳

眞境名由康組踊会会長、沖縄県芸能関連協議会副会長を務め、国指定重要無形文化財「組踊」保持者として、組踊の保存継承、後進の育成と調査研究に尽力するなど、本県の芸能文化の発展に貢献した。



【科学技術部門】 糸村 昌祐 81歳

沖縄工業高等専門学校初代校長、沖縄科学技術振興センター理事長を歴任し、産業界の発展を担う実践的・創造的技術者の育成、産官学の連携促進による新製品・サービスの創出に尽力するなど、本県の産業振興と科学技術の向上に貢献した。



【伝統芸能・工芸部門】 佐藤 太圭子 79歳

琉球舞踊太圭流初代家元を務め、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者として、技芸を研さんし、後進の育成に尽力するとともに、独創的な作品を生み出し琉球舞踊の新たな可能性を追求するなど、本県の文化振興に貢献した。



【一般篤行部門】 仲村 巖 81歳

日産ディーゼル工業株式会社代表取締役を務め、経営者および技術者として第一線で活躍するとともに、高い志を持ち挑戦する沖縄の若者を支援するため、「ロッキーチャレンジ賞」の創設、経営塾の運営に尽力するなど、本県の人材育成および人材交流に貢献した。

問い合わせ 秘書課 TEL : 098-866-2080 FAX : 098-860-1453

